性能評価用提出図書（別添）雛形

（軒裏用）

注意事項

1. 本書類は、性能評価用提出図書(別添)です。
2. 図書のサイズは特に指定されたもの以外はA4版としてください。
3. 様式指定のあるものは、指定通りの様式を用いてください
4. 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10ポイント、数字・単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください。）
5. 上書き使用する場合は、このページを削除し、作成要領に従って作成してください。
3章は6章と自動リンクしており編集できません。
自動リンクは6章入力直後には反映されませんが、「編集」－「すべて選択」の後「F9」を押すと反映されます。
「項目」、「仕様」欄は、元の文字を先に消してしまうとリンクが途切れますので、元の文字の左上にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除してください。

ハウスプラス住宅保証株式会社

評定室

（別添）

1. 構造名

○○板張／木製下地軒裏

1. 寸法及び形状等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（寸法単位：㎜）

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 仕　　様 |
| 軒の出 | ○○以上　○○以下 |
| 軒の形状 | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする(1)勾配(2)水平 |

1. 材料構成

1)主構成材料

| （寸法単位：㎜） |
| --- |
| 項　目 | 仕　　様 |
| 1　軒天材 | ○○○○板・厚さ　　○○以上・働き幅　○○以上・模様深さ　○○以下・密度　○○・容積欠損率　○○％以下・表面形状(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする(1)エンボス(2)平滑(3)○○○○ |
| 2　野縁 | ・材質　木・種類(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする(1)製材(2)集成材(3)単板積層材・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上・間隔　軒の出方向○○以下 |
| 3　吊り木 | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする(1)なし(2)あり（軒の出が○○を超える場合、又は必要に応じて取付ける場合）・材質1)～3)のうち、いずれか一仕様とする1) ○○○2) ○○○3) ○○○・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上・間隔　軒の幅方向○○以下 |
| 4　換気スリット | [1]本体・材質(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする(1)塗装溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板・規格　JIS G 3141・厚さ　○○以上(2)溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板・規格　JIS G 3141・厚さ　○○以上(3)塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯・規格　JIS G 3312・厚さ　○○以上(4)フェライト系ステンレス鋼板・規格　JIS G 3312・厚さ　○○以上[2]塗装・材質　　(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする(1)○○○○系樹脂(2)○○○○系樹脂(3)○○○○系樹脂(4)○○○○系樹脂・塗布量　○○g/㎡以下[3]加熱発泡材・材質　○○○○系加熱発泡材・組成(質量％)　○○○○　　\*\*　○○○○　　\*\*　○○○○　　\*\*・寸法　厚さ○○以上×幅○○以上 |
| 5　●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） |
| 6　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| 7　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| 8　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| 9　●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |

2)副構成材料

| （寸法単位：㎜） |
| --- |
| 項　目 | 仕　　様 |
| ①くぎ・ねじ | [1]軒天材留付け用(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする　(1)くぎ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下　(2)ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下[2]換気スリット留付け用ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下[3]野縁留付け用(野縁を使用する場合)(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする　(1)くぎ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下　(2)ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下[4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする　(1)くぎ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下　(2)ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下 |
| ②●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい）。 |
| ③●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ④●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑤●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑥●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑦●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑧●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑨●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑩●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑪●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑫●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑬●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑭●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑮●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑯●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑰●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑱●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑲●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |
| ⑳●○○ | ●認定仕様を記入してください。 |

1. 構造説明図

（寸法単位：㎜）

＜断面図＞（勾配軒仕様）

　軒の出が○○以上○○以下の場合

注）寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

（寸法単位：㎜）

＜断面図＞（水平軒仕様）

　軒の出が○○以上○○以下の場合

注）寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

（寸法単位：㎜）

＜換気スリット形状図＞

注）寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

1. 施工方法等

＜施工図＞

４．構造説明図と同じ

＜施工手順＞

1. 鼻隠し下地の取付け

・鼻隠し下地は垂木に固定する。

1. 野縁の取付け

・野縁は垂木、外壁、壁躯体又は垂木に取り付けた吊り木に固定する。

・軒の出が500㎜を超える場合は軒の出方向の中間部に野縁を配置し、取付け間隔が500㎜以下になるようにする。

1. 換気スリットの取付け

・換気スリットは外壁、壁躯体等へねじで取り付ける。

・換気スリットは連続して使用する場合は突き付けとし、突き付け部に必要に応じて接合部材を使用する。

・防火上有効な発泡材（ありの場合）は、原則として工場で取り付ける。

・必要に応じて換気スリット裏面に断熱材を取り付ける。

1. 軒天材の取付け

・軒天材は、一方を換気スリットに差し込み、もう一方は鼻隠し下地へくぎ又はねじで留め付ける。中間部に留付け材が必要な場合は、くぎ又はねじを用い野縁または受け材へ留め付ける。

・軒天材目地は合じゃくり、突き付け、金属ジョイナーとする。

・

（別　紙）

1. 評価方法

6-1.試験体の選定

1.寸法および形状等

（寸法単位：㎜）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 試験体の構造 | 仕　　様 | 試験体の選定理由 |
| 軒の出 | ○○ | ○○以上　○○以下 | 遮熱性上不利となる最小(なお、吊り木なしの軒の出最大(○○㎜)についても別途性能を確認している) |
| 軒の形状 | 勾配 | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする(1)勾配(2)水平 | 遮熱性上不利となる(1) |

2.材料構成

1)主構成材料

| （寸法単位：㎜） |
| --- |
| 項　目 | 試験体の構造 | 仕　　様 | 試験体の選定理由 |
| 1　軒天材 | ○○○○板・厚さ　　○○・働き幅　○○・模様深さ　○○・密度　○○・容積欠損率　○○％・表面形状エンボス | ○○○○板・厚さ　　○○以上・働き幅　○○以上・模様深さ　○○以下・密度　○○・容積欠損率　○○％以下・表面形状(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする(1)エンボス(2)平滑(3)○○○○ | ・厚さ、働き幅遮熱性上不利となる最小・遮熱性上不利となる最大・仕様と同じ・遮熱性上不利となる最大・遮熱性上不利となる(1) |
| 2　野縁 | ・材質　木（スギ）・種類　製材・断面寸法　○○×○○・間隔　軒の出方向　　　　○○ | ・材質　木・種類(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする(1)製材(2)集成材(3)単板積層材・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上・間隔　軒の出方向○○以下 | ・仕様と同じ・遮熱性上同等の性能を有するため一般的な(1)・遮熱性上不利となる最小・遮熱性上不利となる最大 |
| 3　吊り木 | なし | (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする(1)なし(2)あり（軒の出が○○を超える場合、又は必要に応じて取付ける場合）・材質1)～3)のうち、いずれか一仕様とする1) ○○○2) ○○○3) ○○○・断面寸法　○○×○○の断面寸法以上・間隔　軒の幅方向○○以下 | ・遮熱性上不利となる(1) |
| 4　換気スリット | [1]本体・材質塗装溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板・規格　JIS G 3141・厚さ　○○[2]塗装・材質　　○○○○系樹脂・塗布量　○○g/㎡[3]加熱発泡材・材質　○○○○系加熱発泡材・組成(質量％)　○○○○　　\*\*　○○○○　　\*\*　○○○○　　\*\*・寸法　厚さ○○×幅○○ | [1]本体・材質(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする(1)塗装溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板・規格　JIS G 3141・厚さ　○○以上(2)溶融亜鉛-6%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-3%ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき鋼板・規格　JIS G 3141・厚さ　○○以上(3)塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯・規格　JIS G 3312・厚さ　○○以上(4)フェライト系ステンレス鋼板・規格　JIS G 3312・厚さ　○○以上[2]塗装・材質　　(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする(1)○○○○系樹脂(2)○○○○系樹脂(3)○○○○系樹脂(4)○○○○系樹脂・塗布量　○○g/㎡以下[3]加熱発泡材・材質　○○○○系加熱発泡材・組成(質量％)　○○○○　　\*\*　○○○○　　\*\*　○○○○　　\*\*・寸法　厚さ○○以上×幅○○以上 | [1]・遮熱性上同等性能を有するため一般的な(1)・仕様と同じ・遮熱性上不利となる最小[2]・塗布量が多く遮熱性上不利となる(1)・遮熱性上不利となる最大[3]・材質、組成仕様と同じ・遮熱性上不利となる最小 |
| 5　●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 6　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 7　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 8　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| 9　●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |

2)副構成材料

| （寸法単位：㎜） |
| --- |
| 項　目 | 試験体の構造 | 仕　　様 | 試験体の選定理由 |
| ①くぎ・ねじ | [1]軒天材留付け用くぎ・材質　○○・寸法　φ○○×L○○・間隔　軒の幅方向○○[2]換気スリット留付け用　ねじ・材質　○○・寸法　φ○○×L○○・間隔　軒の幅方向○○[3]野縁留付け用(野縁を使用する場合)なし[4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)なし | [1]軒天材留付け用(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする　(1)くぎ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下　(2)ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下[2]換気スリット留付け用ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下[3]野縁留付け用(野縁を使用する場合)(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする　(1)くぎ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下　(2)ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上　　　×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下[4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする(1)くぎ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下　(2)ねじ・材質　○○・寸法　φ○○以上×L○○以上・間隔　軒の幅方向○○以下 | [1]遮熱性上不利となる(1)・仕様と同じ・遮熱性上不利となる最小・遮熱性上不利となる最大[2]・仕様と同じ・遮熱性上不利となる最小・遮熱性上不利となる最大[3]野縁を使用しないためなし[4]吊り木を使用しないためなし |
| ②●○〇（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい） | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。（黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい）。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ③●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ④●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑤●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑥●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑦●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑧●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑨●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑩●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑪●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑫●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑬●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑭●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑮●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑯●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑰●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑱●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑲●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |
| ⑳●○○ | 試験体の構造を記入してください。 | ●認定仕様を記入してください。 | 試験体選定理由を記入してください。 |

6-2.試験方法

　・試験は、6-1に示した試験体について、方法書「4.2準耐火性能試験・評価方法」に基づき○○分準耐火性能試験を実施した。

6-3.試験の結果

 [準耐火性能試験](加熱○○分)

* + 1. 標準板の裏面温度上昇が加熱中、平均で140K以下、最高で180K以下であった。
		2. 標準板の非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
		3. 標準板の非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がなかった。
		4. 標準板に火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

6-4.評価の結果

　 本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

1. 申請者連絡先

会社名：

所在地：

電　話：